

第2回会議で議論された内容（次第概要）

実施日：令和5年6月19日（月）9：30～11：30

実施場所：役場庁舎 1階 第1会議室

1. 設計事業者と事務局との打ち合わせ状況について（P.2）
2. 軽井沢町議会庁舎改築周辺整備事業検討特別委員会での意見交換について（P.3）
3. 庁舎改築周辺整備事業見直し方針（素案）について（P.4）
4. DX検討委員会・行財政改革委員会での議論内容について（P.5～6）
5. その他（連絡事項など）（P.7）

★ 現在の計画からコストを抑えるためのポイント

（設計事業者からのアドバイス）

- ・ **床面積** 及び **建築面積（建築範囲）** の減少
⇒ 現況、7,500㎡ から 何㎡まで減少させるか。
- ・ **公用車車庫** の縮小（屋根の減少含む）
⇒ 何台とするか。 屋根の有無と規模の検討。
- ・ **Z E B仕様** のランクを見直し
⇒ Z E B R e a d y を見据えた 仕様の精査
- ・ **複合施設と一体的な工程** とする可能性
⇒ 一体整備とするか否かの決定

庁舎改築周辺整備事業検討特別委員会について（情報共有）

議会特別委員会にて出された意見・質問	出された意見・質問に対する事務局としての見解
ワークショップ（以下「WS」）は具体的に何を建てるか含めてやってほしい。	何のためのワークショップなのかということや、このWSで何をやるのかということを確認にする。
WSは設計者主体ではなく、町主体で実施してもらいたい。	町側が主体となり、設計事業者にファシリテーションを行ってもらいスタイルとし、参加者から意見の出しやすい設定をする。
WSはライブ配信の方がよい。	参加や意見をやる間口を広げるため、ライブ配信を検討。リアルタイムでの質疑応答対応も検討。
9月以降は外部の人も入れた委員会を立ち上げるのか。	住民を入れる方向で検討する。ただし、選定基準の吟味が必要と考える。
基本理念についても住民を含めてしっかり改めて議論するべきである。	今後の議論にて補足していく。
資料を見ると、面積減を目標としているが、防災拠点としてある程度の面積が必要だと思う。防災拠点は基本理念にあったはず。見直し委員会でも基本理念の共有はきちんとされたのか。コストも大事だが、まずは基本理念の実現が大事なのではないか。	防災拠点としての仕様を再確認。防災拠点という理念を尊重しつつ、集中型⇒分散型の可能性やBCPの観点なども考慮した検討とする。
住民の意見をもっと吸い上げるべきである。	これまでに出されている意見整理を今一度行う。合わせて9月以降にWS、パブリックコメント等の実施を検討。
複合施設と一緒に建物にするかもしれないとあるが、その場合、今までの検討をベースとした修正では対応できないのではないかと。完全にやり直しになるのではないかと。	複合施設との一体化はあくまで現時点で意見であり、確定事項ではない。コストや強度の観点からの確認も取りながら慎重に検討する。
DXの検討は重要であるが時間かかる。専門人材登用の予定はあるか。	DX検討委員会を立ち上げ、専門人材の登用を検討中。
計画図面を出すだけでは住民には分かりづらい。情報公開の方法をもっと工夫するべきである。	ホームページ上の見せ方の工夫をはかる。具体性を意識した掲載方法の選択をしていく。
町の情報発信ツール活用の1つとして、若者に町公式LINEの登録をしてもらうため、学校行事に出向いてみてはどうか。	本事業のみに限定された話ではないものと考えているが、今後の検討とする。
偏った議論にならないように留意願いたい。	専門的な観点と俯瞰した観点を共存させながら進める。
時間の経過とともにコストは上がる。住民の意見聴取ばかりでは時間がかりすぎる。大幅な変更をしないとコストダウンは見込めない。最終的には決定権者（行政）が判断しないといけない。	すべての意見を取り入れたり、コストの大小のみで判断したりするなど偏った判断とならぬよう、将来的なものも含む採算性、合理性を追求した決定とできるようにする。

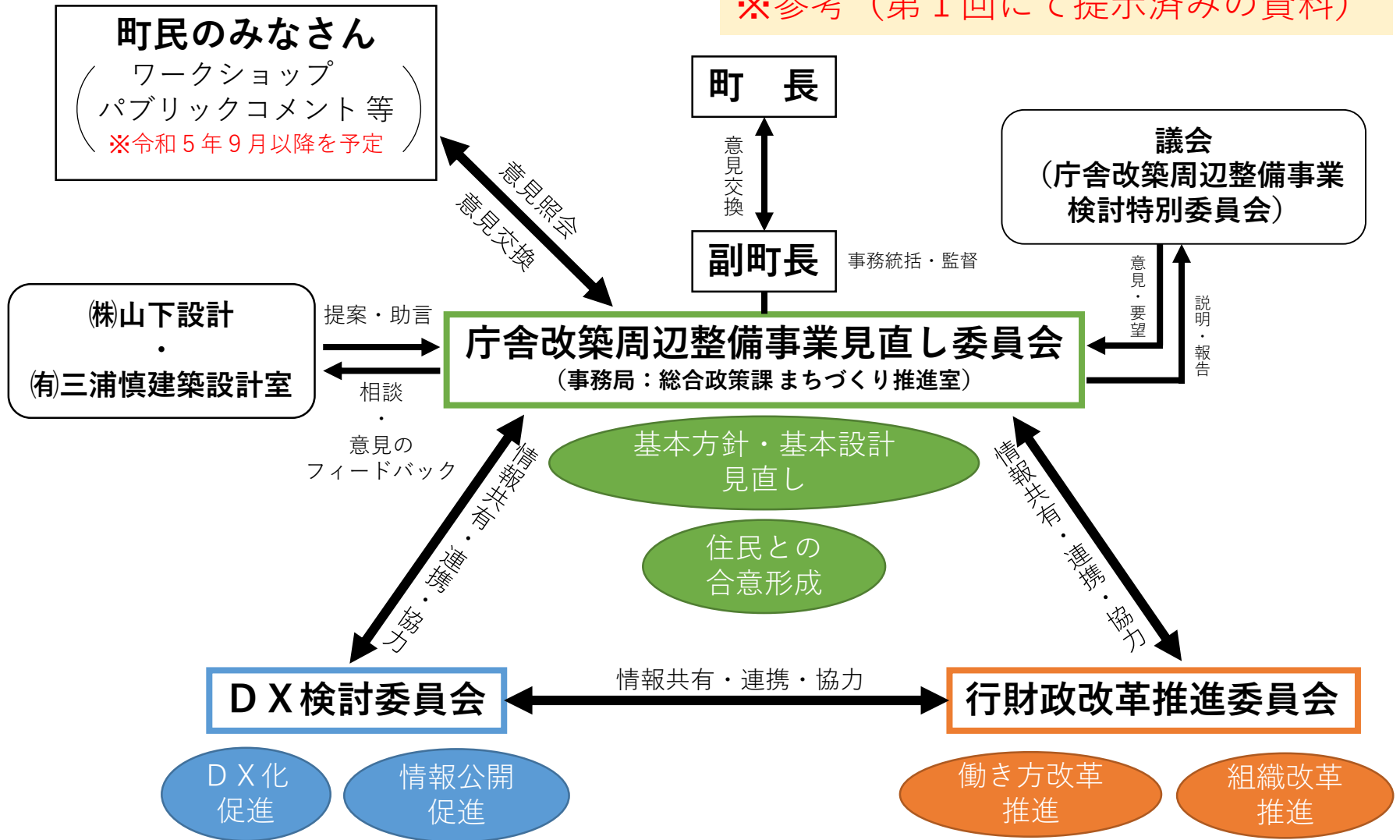
<目次>

1. これまでの課題・問題点
2. 見直しにおけるコンセプト
3. 新庁舎の建設場所
4. 庁舎周辺施設の整備
5. 新庁舎・複合施設の整備範囲
6. 新庁舎の規模
7. 複合施設の規模
8. その他施設
9. 事業費と財源に対する考え方
10. 今後の事業スケジュール

見直し方針として
説明する各項目（テーマ）の案

見直しにあたっての組織体制（各組織の役割・関係）

※参考（第1回にて提示済みの資料）



各委員会で詰めていくべき議論内容の整理 (抜粋)

見直し委員会 (事務局 (まちづくり推進室) が主導)

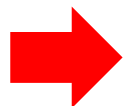
- ・ 当初の基本方針と現状の基本設計との比較検討材料の整理
(面積・ZEB・コスト等に関する具体的な数値情報の整理)
- ・ 現状の基本設計内容を全職員へ改めて周知し、DXや行財政改革に関する意見が出やすい環境を醸成していく。
- ・ 方針打ち出しを見据え、数パターンで比較できる形での検討案整理を行っていく。

DX検討委員会

- ・ 既に進めることができるDXについても考えていかなければいけない。
- ・ 「どの申請をしても同じ場所で済む、同じ場所で共有できる」といった仕組みづくり
- ・ 将来的に今までよりも何パーセントぐらい来庁者を減らせるかという明確な見込みづくり

行財政改革委員会

- ・ 庁舎面積の検討には並行した組織改革 (組織の統廃合・配置見直し) が必要
- ・ ペーパーレス化の促進、窓口の細分化、フリーアドレス式の配置等の検討
- ・ 書類保存ルールの見直し



DX検討委員会・行財政改革委員会を本格稼働へ

今後のスケジュール（案）

